

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所	淡路市立北淡中学校	研究グループ名
属・職・氏名	教諭 徳梅 昌行	(みのり研究会)

研究テーマ分類番号 (1 7)

(1) 研究テーマ	
今日的な教育課題に対応できる教員の育成 ～み（未来を担う）の（能力を身につけた）り（リーダーの育成）～	
(2) 研究経過及び具体的な取組	
5月29日（火）	第1回定例会 ・実施場所 淡路市立北淡中学校 ・参加人数 21人 ・内 容 講義「県、市の方針について」 年間研修計画の検討 ・成果と課題 1年間の研修計画を話し合うことで、どんなことを研修したいか、この会の目的は何かといったことが明確になった。
6月12日（火）	第2回定例会 ・実施場所 淡路市立北淡中学校 ・参加人数 17人 ・内 容 講演「学校トラブルの対処法について」 ・成果と課題 自分一人で抱え込むのではなく、情報を共有したり、事案の報告をしたりし、全体で取り組むことが大切である。また、きちんと記録に残しておくことが自分を守ることにつながるということが分かった。
10月2日（火）	第3回定例会 ・実施場所 淡路市立北淡中学校 ・参加人数 15人 ・内 容 講話「今起きているいじめ、自殺を考える」 ・講 師 スクールソーシャルワーカー ・成果と課題 いじめている側の背景を知ることが、解決への糸口となるが、ここ近年その背景が複雑になっている。被害を受けている児童生徒には、味方になってあげること、声を掛けてあげることが安心感を与え、抑止につながる。

11月6日（火）

第4回定例会

- ・実施場所 淡路市立北淡中学校
- ・参加人数 21人
- ・内 容 伝達講習「学校組織におけるミドルリーダーの役割」
講話「南海地震に備えて」
- ・講 師 大道 伸一 氏（東浦中学校 主幹教諭）
武岡 和彦 氏（釜口小学校 教諭）
- ・成果と課題 組織マネジメントの手法からミドルリーダーの役割を知ることができた。今の社会の変化についていくには、組織マネジメントの作り方から見直す必要がある。防災に関する講話では、東日本大震災を踏まえ、学校防災マニュアルの見直しをしたり、高台への避難訓練の実施をしたりする必要性を感じた。また、市や地域との連携も密にすることが大事である。

12月4日（火）

第5回定例会

- ・実施場所 淡路市立北淡中学校
- ・参加人数 20人
- ・内 容 討論「小中連携について考える」
- ・成果と課題 今回は、「宿題」をテーマに小中学校それぞれの立場で宿題の是非について話し合った。大半の人が、「宿題は必要である」という意見であったが、究極的な目標として「宿題を与えなくても自主的に課題に取り組む児童生徒の育成」が挙げられた。